

# 「令和4年度鹿児島県立図書館運営に関する点検及び評価」

## 鹿児島県立図書館基本的運営方針

(令和2年3月策定, 取組期間: 令和2年度～6年度)

### 【鹿児島県立図書館の目指す姿】

人づくりに貢献し, 成長し続ける図書館 ～支える・役立つ・つなぐ・育む～

### 【基本目標, 重点取組事項】

#### <基本目標1>

鹿児島県立図書館は, 県立奄美図書館との連携を図りながら, 県内の公共図書館(室)が多様なサービスを提供できるよう, ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより, 「支える」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 市町村図書館支援の充実
- 2 ネットワークの構築
- 3 図書館運営研究の拠点
- 4 図書館協議会等の充実

#### <基本目標2>

鹿児島県立図書館は, 県の情報拠点として, 県民や地域の課題解決支援が図れるよう, 多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより, 「役立つ」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 利用者に対応したサービスの充実
- 2 課題解決支援・学習支援の充実
- 3 郷土資料(地域資料)の網羅的な収集とデジタル化
- 4 図書館資料の計画的な整備

#### <基本目標3>

鹿児島県立図書館は, 県民が新たな知を創出できるよう, 居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら, 知識や知恵, 情報の交流の場づくりに努めることにより, 人と人, 人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 場と人とをつなぐ環境づくり
- 2 人と人とをつなぐ環境づくり
- 3 情報と人とをつなぐ環境づくり

#### <基本目標4>

鹿児島県立図書館は, 県民の読書活動を積極的に推進するとともに, 郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより, 県民が生涯にわたって読書に親しみ, 郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 子供読書活動の推進
- 2 大人読書活動の推進
- 3 郷土の人・文化の理解と継承

### 【評価基準】

評価	内容
A	非常に良好 : 計画どおりに実施でき, 大きな成果がみられた。
B	良好 : 計画どおりに実施できた。
C	やや不十分 : 概ね計画どおりに実施できたが, 一部が実施できなかった。
D	不十分 : 計画どおりに実施できなかった。



## 基本目標 1 『支える』

鹿児島県立図書館は、県立奄美図書館との連携を図りながら、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、「支える」図書館を目指します。

### 1 令和4年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計 画	実 績	
1	市町村図書館支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の共有化を行うとともに連携を密にし、利用者サービスの向上を図る。</li> <li>貸出文庫により、市町村立図書館をとおして県民への圖書の貸出を行う。</li> <li>図書館ポータルサイトを活用し、相互貸借の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の市町村図書館（室）に関する情報の積極的な収集・広報に努め、各館の交流を推進した。</li> <li>県内市町村立図書館への貸出について周知することで、公立図書館等を通じた地域住民や学校等への支援を行った。</li> <li>ポータルサイトの円滑な運用を目指して、市町村図書館と連携を図っている。</li> </ul>	B
2	ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館（室）における利用者サービスの向上を促進する。</li> <li>図書館情報システムの適切な運用管理を行うとともに、セキュリティ対策の強化を行う。また、図書館情報システムを活用したサービスの利用促進を図るため、横断検索システムへの参加・利用促進を図るとともに、ホームページの情報更新に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住地返却の冊数は令和3年度と同程度であった。令和5年1月から鹿児島市合併前の旧5町での居住地返却を開始した。</li> <li>横断検索システムの参加自治体数は目標値の34市町村に対し、1市2町増えて38市町村であった。働きかけにより参加意向を示す自治体も増えている。併せてシステムのソフトウェア更新も行った。</li> </ul>	B
3	図書館運営研究の拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館大会や各種講座等をとおして、図書館職員の資質向上を図る。</li> <li>県内各地で行われる研修会への講師派遣や来館研修、図書館司書実習を受け入れるなど、市町村や各種団体等の支援を行う。</li> <li>県民の読書活動を推進する研修会やイベントを開催し、市町村図書館での事業のモデルを示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員を減らすことなく、感染症対策を行いながら図書館大会や各種講座を実施した。</li> <li>研修会へ講師を派遣したり、図書館実習を受け入れたりすることで、図書館関係職員の資質向上に努めた。</li> <li>読書の魅力を伝える活動推進研修会を2地区で開催し、市町村図書館関係職員と協働することで、職員の資質向上を図った。</li> </ul>	B
4	図書館協議会等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協議会委員や図書館協会理事からの意見・要望を参考にし、図書館運営や利用者サービスの改善・向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協議会は2回開催し、図書館協会の理事会は3回行った。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、図書館協会の総会及び業務担当者会はオンライン等で開催できた。</li> </ul>	B

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「県民一人当たりの貸出冊数」	3.46冊	3.27冊	94.5%
2	「市町村満足度」	85.0%	83.5%	98.2%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「図書館等への貸出冊数」	36,600冊	33,258冊	90.9%
2	「居住地返却の冊数」	4,700冊	4,494冊	95.6%
3	「横断検索への接続市町村数」	34市町村	38市町村	111.8%
4	「講座等への参加者数」	720人	596人	82.8%
5	「県立図書館を語る会の参加者数」	180人	182人	101.1%

### 3 評価と今後の取組について

県民一人当たりの市町村立図書館における貸出冊数は前回の2.96冊より向上している。図書館等への貸出冊数は相互貸借の冊数が減少したが、ネットワークの構築の点では、横断検索できる市町村数は1市2町増加し利便性が高められた。今後も円滑な利用体制の整備に努めたい。図書館運営研究の拠点については目標値には達しなかったものの図書館大会等予定どおり開催することはできた。今後は対面による会合等が増えていくことから、広く参加者を募り目標値を達成したい。図書館協議会等の充実についてもオンライン等を活用し目標値を達成できた。今後も、研修や訪問等により図書館職員の資質向上に努めるとともに、貸出文庫等の利用促進を図ることで、「支える」図書館としての役割を充実させてまいりたい。

## 基本目標 2 『役立つ』

鹿児島県立図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、「役立つ」図書館を目指します。

### 1 令和4年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	利用者に対応したサービスの充実	・閲覧・貸出など利用しやすい環境整備とともに、様々な利用者サービスの向上に努める。	・施設面では児童が利用しやすいようにトイレの洗面台の一部を児童用に改修した。 ・冬の読書フェスティバルでは全プログラムで手話通訳者による読書バリアフリーに取り組んだ。 ・県図書ほっとフェスにおいて、所蔵している障害者用資料を体験してもらいその周知を図った。	B
2	課題解決支援・学習支援の充実	・郷土に関する事項の件名やレファレンス事例の電算入力、パスファインダーの作成等、レファレンスツールの充実に努める。 ・課題解決支援コーナーの充実に努める。	・来館者やメール、文書での調査依頼の増加に対して、係内で情報共有を図り、チームで対応した。パスファインダーを改訂し、レファレンスサービス向上を図った。 ・課題解決支援コーナー4分野の資料収集や展示、配架の工夫を行い、充実に努めた。	B
3	郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化	・郷土の文化遺産として永く後世に伝えていくために網羅的で積極的な郷土資料の収集を行い、そのために各関係機関との連携を図り協力を依頼する。 ・郷土資料の保存と活用のため郷土新聞や貴重資料等のデジタル化を進める。	・各機関と連携し、県行政資料や市町村発行資料など図書以外の収集も積極的に努め、郷土新聞、貴重資料のデジタル化も計画的に行なった。 ・令和4年度は、貴重資料「慶応薩藩藩費洋行者写真」を撮影し、デジタル化を進めた。	B
4	図書館資料の計画的な整備	・利用者の生涯学習に役立つ資料を幅広く収集するとともに、海音寺潮五郎文庫や雑誌スポンサーコーナー、障害者サービス資料の充実も図りながら、県民の調査相談に資する図書館、保存図書館としての資料の整備に努める。	・購入、寄贈などによる図書資料については、収容スペースの確保を図りながら計画的に約12,000冊の受入を行なった。 また、障害者サービスのためのデイジー図書や雑誌スポンサー制度による雑誌など、幅広い資料の収集を行なった。	B

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「貸出+書庫閲覧冊数」	380,000冊	329,799冊	86.8%
2	「利用者満足度」	51.0%	48.9%	95.9%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「利用者満足度」(ユニバーサルサイン)	76.2%	56.6%	74.3%
2	「レファレンス検索データ入力件数」	150件	131件	87.3%
3	「デジタル化進捗率」	59.4%	48.5%	81.6%
4	「蔵書冊数」	932,000冊	922,594冊	99.0%

### 3 評価と今後の取組について

利用者に対応したサービスの充実については、読書バリアフリーについての職員研修を行ったほか、手話通訳の導入、障害者用資料の普及啓発に努めた。施設面では多機能トイレ導入や車椅子用ブース等の要望があることから、今後検討していくこととする。課題解決支援・学習支援の充実についてはレファレンス件数がコロナ禍前の水準へ戻りつつあるが、令和4年度の来館者アンケートにおいては調査相談への対応については97%の利用者が「満足」+「やや満足」と回答している。職員の資質向上を図りながら質の高いサービスを継続して提供できるようチームで取り組んでいく。今後、郷土資料や貴重資料のデジタル化を更に進め、障害者サービス資料の充実も図りながら、県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等により「役立つ」図書館を目指してまいりたい。

### 基本目標 3 『つなぐ』

鹿児島県立図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

#### 1 令和4年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	場と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設等の安全管理及び保全改修に努める。</li> <li>広報誌やホームページの内容の充実を図り、積極的な情報発信に努めるとともに、県の広報誌等を活用した広報活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備メンテナンスや大研修室音響設備の改修、洋式トイレへの便座除菌クリーナーの設置など快適な環境の維持に努めた。</li> <li>ホームページの内容の充実を図り、広報誌等を利用した広報活動</li> <li>情報発信に努めた。</li> </ul>	B
2	人と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が多様な他者と交流し、図書館や図書資料を活用してコミュニケーションを楽しむことができるよう、交流イベントを開催する。</li> <li>一般県民に対しての研修室貸出を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当館職員と外部講師、関係機関と連携したイベント（県図書ほっとフェス、ビジネス支援事業）を開催し、幅広い年代の県民の交流や課題解決を促した。</li> <li>研修室の活用について積極的な広報に努めに、利用促進を図った。</li> </ul>	A
3	情報と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館を生涯学習の活動や成果を発表する場として活用するため、ボランティア活動を支援する。</li> <li>HPやSNSを活用した情報提供や情報交流を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館でのボランティア活動に関する積極的な広報を行い、知識と技能を高める説明会や研修会を開催した。</li> <li>最新情報をHPとFacebookへ掲載した。</li> </ul>	C

#### 2 各種指標の達成状況

##### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「入館者数」	476,000人	329,250人	69.2%
2	「利用者満足度」	64.5%	66.4%	103.0%

##### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「利用者満足度」(居心地の良い空間・居場所づくり)	85.9%	82.6%	96.2%
2	「交流イベント参加者数」	110人	283人	257.3%
3	「ボランティア活動者数」	800人	461人	57.6%
4	「HPのリンク数」	9件	5件	55.6%
5	「SNSフォロワー数」	1100件	589件	53.5%

#### 3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止による影響で、入館者数やボランティア活動者数が目標値を下回った。居心地の良い空間・居場所づくりに係る利用者満足度は、目標値を達成できた。今後も利用者の声を聴きながら計画的に改修を実施していきたい。交流イベントについては、幅広い年齢層の県民を対象とした「県図書ほっとフェス」を開催し、多くの参加を得ることができた。また、令和4年度は高校生や一般県民を対象としたビジネス支援セミナー等を開催し、当館の資料やデータベースを活用するとともに関係機関（日本政策金融公庫、鹿児島県よろず支援拠点）と連携した事業を展開した。図書館を活用した新たな取組として継続していきたい。Facebookのフォロワー数が伸びていないため、情報発信が課題となっている。今後、効率的な方法を模索し「つなぐ」図書館としての役割を向上させてまいりたい。

## 基本目標 4 『育む』

鹿児島県立図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

### 1 令和4年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	子供読書活動の推進	・親子読書研修会、読書の魅力を伝える活動推進研修会を開催し、子供読書活動の推進を図る。併せて、各地の研修会への講師派遣や総合講座、学校図書館講座、県図書館大会の中で、子供読書推進についての周知を図る。	・親子読書研修会や読書の魅力を伝える活動推進研修会を実施し、事例発表や協議、講演等をとおして、子供読書活動の推進を図った。 ・講座や幼稚園新規採用教諭研修会、講師派遣等において、子供読書活動の意義や重要性について周知した。	B
2	大人読書活動の推進	・読書に楽しむ大人の姿の影響を重視し、読書の魅力を伝える活動推進研修会のワークショップや交流イベントに大人向けの読書活動を取り入れる。	・読書の魅力を伝える活動推進研修会では大人向けの読書活動のワークショップを設定し、交流イベントでは、図書館活用講座やロビーコンサートを行うことで、大人が読書活動を楽しむ機会を提供した。	A
3	郷土の人・文化の理解と継承	・貴重資料紹介展や講演会を行い、県民の生涯学習の一助とするとともに、図書館利用の促進につなげる。また、広報誌・ホームページの活用や、報道機関への情報提供を行う。	・令和4年度は感染症対策を講じながら県民の郷土への興味や理解を促すような展示・講演会を行った。9月に「琉球王国と薩摩藩の文化交流」、12月に「近代日本の建設者～五代友厚と鮫島尚信」をテーマに講演を行い、当館所蔵の関連貴重資料の展示を行った。	B

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「研修会等の参加者数」	1, 100人	603人	54.8%
2	「受講者満足度」	90.0%	95.7%	106.3%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	「講座等の定員に対する参加者数の割合」	85.0%	52.7%	62.0%
2	「大人向けイベントの参加者数」	80人	126人	157.5%
3	「資料展等の参加者数」	1, 400人	893人	63.8%

### 3 評価と今後の取組について

子供読書の推進については、各種研修会等が開催できたものの、コロナ禍の影響もあり参加者数は目標値に達しなかった。大人読書活動の推進については、読書の魅力を伝える活動推進研修会の大人向けワークショップや交流イベント等への参加者数が目標値に達した。貴重資料紹介展についても開催期間が新型コロナウイルス感染症の第7波、第8波と重なるなど目標値に届かなかった。研修会等の参加者数は目標に達しなかったものの、講演会等参加者からの受講者満足度は非常に高いことから、今後イベント等開催時の制限緩和に伴い、目標値に達するよう効果的な広報に力を入れていきたい。

今後も、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指してまいります。